

ENEROID EN20B 自動充電器

取扱説明書



このたびは自動充電器「EN20B」をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。

Ver.1.2

発売元: Kenko Tokina Co., Ltd. 株式会社 ケンコー・トキナー

■本社 〒164-8616 東京都中野区中野5-68-10 KT中野ビル

ケンコー・トキナー ホームページ <http://www.kenko-tokina.co.jp/>

EN20Bについてのお問い合わせは

ケンコー・トキナーお客様相談室

フリーコール(無料) ※海外からおよびIP電話では接続できません

フリーコール **0120-775-818**

携帯電話・PHS・IP電話をご利用の場合(通話料がかかります)

03-6840-3389

●受付時間 9:15~17:30(土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏季休業等を除く)
※本ダイヤルでの通話は、応対品質向上のため録音させていただいております。

安全上のご注意

1. ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
2. 製品本体および取扱い説明書には、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を事前に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

免責事項について

- ・地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他事故、お客様の故意、または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本製品の使用、または使用不能から生ずる付随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・取扱説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- ・製品改良のため、予告なく製品仕様を変更することがあります。

警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定されることを示します。

禁止 装置内に手や指を入れないこと
巻き込まれてケガをする恐れがあります。

禁止 通電中は、上部カバーを開けないこと
異物が入ったり、ケガ、故障の原因になります。

禁止 充電機以外のものを入れないこと
故障、火災の原因になります。

禁止 めれた充電機を充電しないこと
異常な発熱・破裂・発火・感電・回路のショートによる故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合は、ただちに充電機のプラグを抜いてください。

指示 長時間使用しない時は充電機のプラグをコンセントから抜くこと
感電・火災・故障の原因となります。

指示 充電機は AC100V の電圧で使うこと
異常な発熱・感電・火災・故障の原因となります。

指示 充電機にほこりが付着している場合は、拭き取り後、充電スロットにセットすること。
そのまま放置すると火災の原因となります。

指示 充電機・充電機に異常な発熱・発煙・異臭などの異常が発生したり、破損した時は、すぐに次の作業をおこなうこと
1. 充電中であれば充電機をコンセントから抜く。
2. 冷えたのを確認し、充電機を取り出す。そのまま使用(充電)すると、充電機が異常な発熱・破裂・発火の原因となります。

危険 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことがあり、その切迫の度合いが高いことを示します。

指示 アルカリ電池・マンガン電池など充電式ではない電池は絶対に充電しないこと
充電機が漏液・異常な発熱・破裂・発火の原因となります。

指示 ニッケル水素・ニカド充電機以外に絶対に充電しないこと
充電機が漏液・異常な発熱・破裂・発火の原因となります。

分解禁止 充電機・充電機を分解・改造・修理しないこと
充電機・充電機での火災・感電の原因となります。

火気禁止 充電機・充電機を火の中に入れてたり、加熱しないこと
充電機が異常な発熱・破裂・発火の原因となります。なお、水にぬれた場合でも加熱用機器などで強制的に乾燥させないでください。

注意 取扱いを誤った場合、使用者が障害を負うことが想定されるかまたは物的損害の発生が想定されることを示します。

禁止 付属の ACアダプター以外使用しないこと
付属以外の AC アダプターを使用すると故障の原因になります。

禁止 充電機・充電機を直射日光の強いところや炎天下の車内など、充電機が高い温度になるところで使用・放置しないこと
充電機の異常な発熱・発火の原因となります。

禁止 充電機・充電機を幼児の手の届く場所には置かないこと
けがなどの事故の原因となります。

水ぬれ禁止 濡れた手で充電機を抜き差ししないこと
感電の原因となります。

指示 電池室が充電機でいっぱいになる前に充電機を取り出すこと
電池室が開かなくなることがあります。

指示 メンテナンスやクリーニングをされる際には事前に電源プラグの差し込み口から充電機を外すこと
感電の原因となります。

指示 充電機が充電スロットにセットされた状態で電源を抜かないでください
長時間放置すると充電性能が劣化します。

指示 平で安定したところに設置する
不安定なところに置くと転倒、故障、事故の恐れがあります。

指示 充電・リフレッシュ直後、すぐには電池を取り出さないこと
充電・リフレッシュ直後は充電機が熱くなっていることがあります。充電機の取出しは温度が下がるのを待ってから行ってください。

危険 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことがあり、その切迫の度合いが高いことを示します。

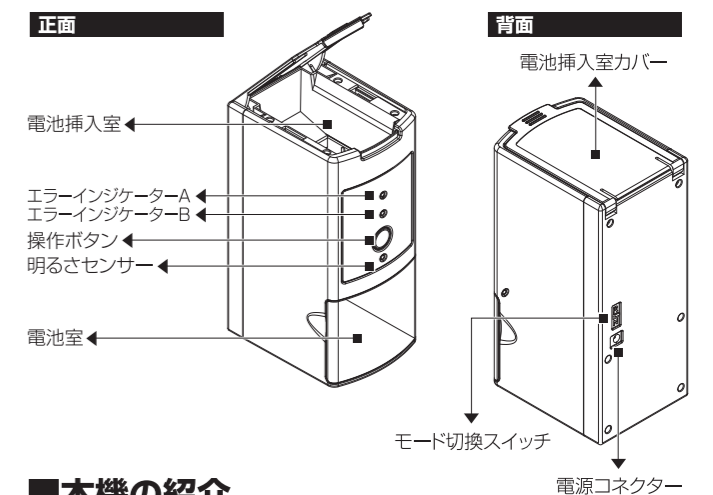
火気禁止 充電機・充電機を火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所で使用・放置しないこと
充電機・充電機が異常な発熱・破裂・発火の原因となります。

水ぬれ禁止 充電機・充電機を水や汗、海水、薬品などで濡らしたり、かかる恐れのある場所に置かないこと
充電機・充電機が異常な発熱・破裂・発火の原因となります。

禁止 充電機・充電機を落としたり、強い衝撃を与えないこと
充電機・充電機が異常な発熱・破裂・発火の原因となります。

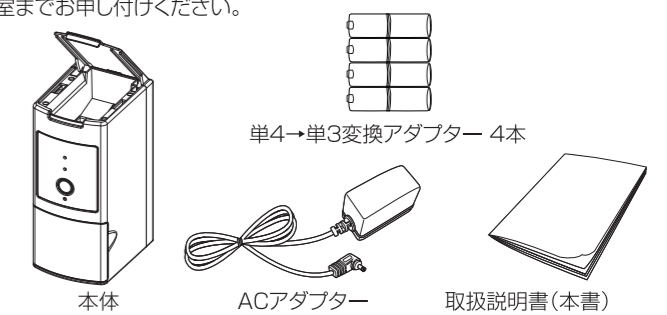
禁止 電子式変圧機に接続しないこと
充電機の電源として使用すると異常な発熱、発火の恐れがあります。

各部の名称



本機のご紹介

以下のセット内容が揃っているかご確認ください。万一、不足しているものがあれば、ご購入店またはケンコー・トキナーお客様相談室までお申し付けください。



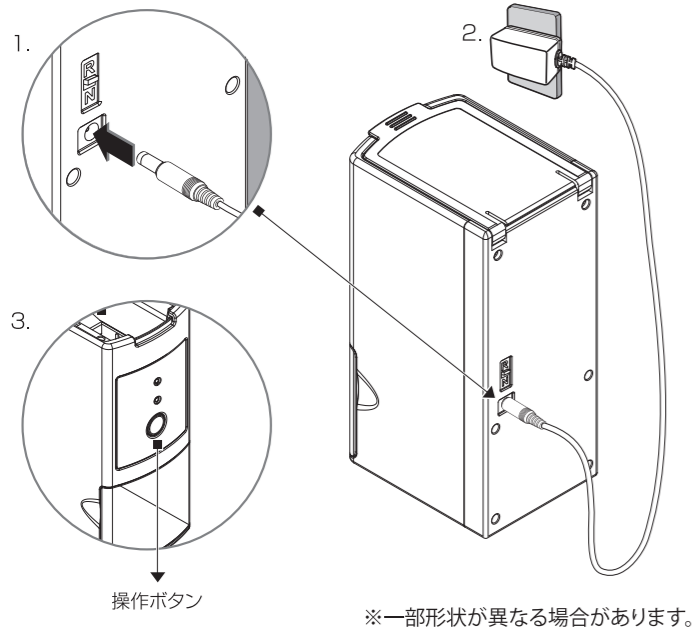
単4→単3変換アダプター 4本

※一部形状が異なる場合があります。

■電源(ACアダプター)の取り付け

本機と付属のACアダプターを接続します。

1. ACアダプターケーブル先端のコネクターを本機に接続します。
2. ACアダプターをコンセントに接続します。
3. 接続後、電源がオンになり、操作ボタンが青く点灯し、スタンバイモードになります。
電源オン後、一定時間操作がないと自動的に電源オフになります。
再度、操作ボタンを押すと電源がオンになり、作動を開始します。
4. 電源をオフするにはACアダプターを本機から取り外します。
使用しないときは、必ずACアダプターをコンセントから取り外してください。



■操作ボタンの点灯表示

操作ボタンの点灯表示を紹介します。

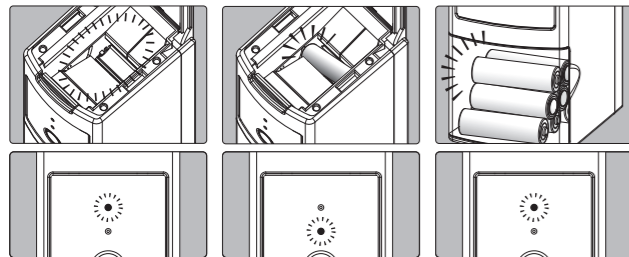
表示	状態
青色点灯	スタンバイ状態です。
赤色点滅	充電中です。
緑色点滅	リフレッシュ中です。
青・赤色交互に点滅	電池挿入室内に電池／充電電池が詰まってしまっています。 電池挿入室内に電池／充電電池が挿入されていません。
紫色点滅	充電電池を排出中です。

※本機を暗所で使用する場合「明るさセンサー」が作動し、点灯濃度を暗く調整します。

■エラーインジケータの点灯表示

エラーインジケータの点灯表示を紹介します。

エラーインジケータA エラーインジケータB エラーインジケータA



電池挿入室内に電池が入っていない場合、エラーインジケータAが点灯します。

電池挿入室内の電池が詰まっている場合、エラーインジケータBが点灯します。

電池室内に電池が一杯になったときエラーインジケータAが点灯します。

■充電電池を電池挿入室にセットする

本機に充電電池をセットします

1. 本機の電源をオンにします。
 2. 電池挿入室カバーを開いて充電電池を横に並べて挿入します。
 3. 電池挿入室カバーを閉じます。
- 充電電池を入れすぎると電池挿入室カバーが閉まらない可能性があります。
カバーが閉まらない場合は、充電電池を抜いて閉まるようにしてください。



■充電時間の目安

電池タイプ	電池容量(例)	充電時間の目安
ニッケル水素及び ニカド単3形充電電池 4本の場合	950~1000mAh	約35~40分
	1900~2000mAh	約60~80分
	2400~2500mAh	約75~100分

●上記は目安ですので、電池の状況や本数により充電時間が変動することがありますが異常ではありません。充電終了のサインが出るまでお待ちください。

■スリープモードについて

スタンバイモードのまま約5分操作がないと、自動で電源が切れます。
スタンバイモードにするには操作ボタンを押してください。

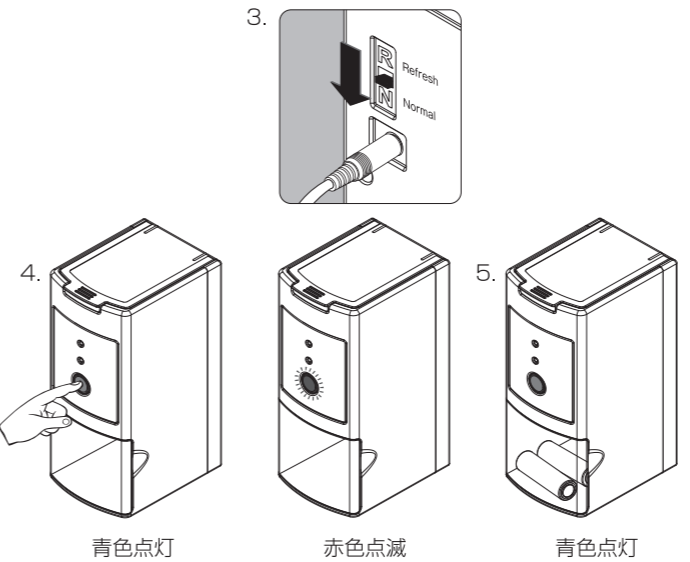
■乾電池について

乾電池を充電することはできません。
ENEROIDに乾電池を入れた場合、自動で検出し、充電せずに排出します。

■充電電池を充電する

本機で充電電池を充電します。

1. 本機の電源をオンにします。操作ボタンが青色に点灯します。
 2. 充電電池を電池挿入室にセットします。
 3. 本機背面の「モード切換スイッチ」をNormalにします。
 4. 操作ボタンを押します。操作ボタンが赤色に点滅し充電が始まります。
 5. 充電を終了した充電電池から電池室に移動します。
充電動作を終了すると操作ボタンが青色に点灯します。
電池室が一杯になる前に充電電池を取り出してください。
- 充電電池が熱くなっていることがあります。
電池の温度が下がってから電池を取り出してください。



■充電電池の排出

充電、リフレッシュ中に充電電池を排出する手順を示します。

1. 操作ボタンを押します。操作ボタンが青く点灯します。
2. 操作ボタンを長押しします。操作ボタンが紫に点滅し、充電電池が電池室に移動します。

■主な仕様

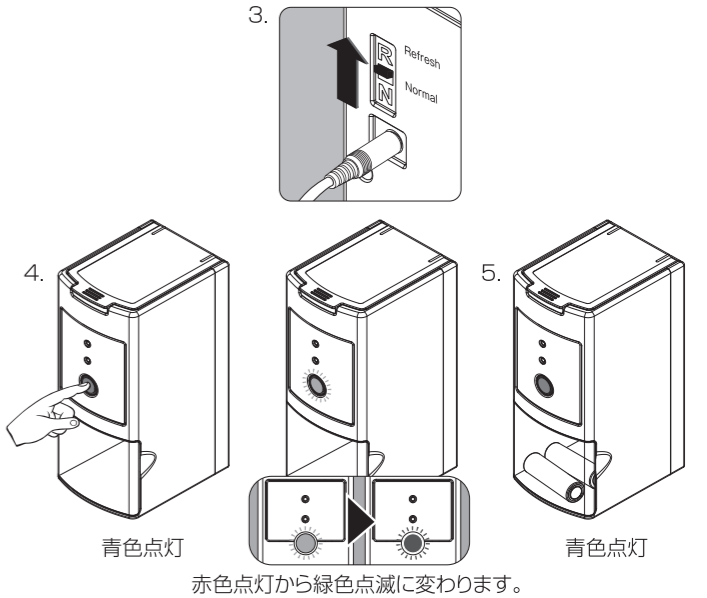
定格電圧	DC12V
定格電流	2A
電源	ACアダプター(DC12V、2.5A)
対応充電電池	ニッケル水素／ニカド充電電池 単3形、単4形
使用温度範囲	5~35℃(結露なきこと)
本体色	ホワイト
本体サイズ	約92(W)×212(H)×120(D)mm
本体重量	約622g(本体のみ)
同梱品	本体、ACアダプター、単4→単3変換アダプター 4本 取扱説明書

● 単4充電電池の場合、単4→単3変換アダプターを使用してください。

■充電電池をリフレッシュする

本機で充電電池をリフレッシュします。
リフレッシュ後はフル充電にはなりません。あらかじめご了承ください。

1. 本機の電源をオンにします。操作ボタンが青色に点灯します。
2. 充電電池を電池挿入室にセットします。
3. 本機背面の「モード切換スイッチ」をRefreshにします。
4. 操作ボタンを押します。操作ボタンが赤色点灯から緑色の点滅に変わりリフレッシュが始まります。
5. リフレッシュを終了した充電電池から電池室に移動します。
リフレッシュ動作を終了すると操作ボタンが青色に点灯します。
電池室が一杯になる前に充電電池を取り出してください。



保証規定 保証期間：ご購入日より1年

【お願い】 修理に関しましては修理箇所、内容を明確にご指示ください。

- (1)修理の際は必ずお買い上げ店舗のレシートを添付のうえ、ご購入店またはケンコー・トキナーお客様相談室までお申し付けください。
- (2)修理箇所は明確にご指摘ください。
- (3)お買い上げ店舗のレシートの添付なき場合は有料修理となります。正常な取り扱い中に故障を生じた場合以外は有料修理となります。(下記①~⑧など)
①取扱いの乱用、使用法の誤りによる故障 ②保存上の不備のため湿度などによって生じた故障 ③火災や浸水・天災によって生じた故障 ④当社以外の場所にての修理・改造・分解による故障 ⑤その他類似的起因による故障 ⑥消耗品(充電電池等)のお取り替え ⑦落下、衝撃、砂、泥かぶり、冠水、浸水などによる故障 ⑧個人売買およびオークションなどでご購入の場合
- (4)ご購入年月日・ご購入店名のなきものは無効です。
- (5)レシートは大切に保管してください。
- (6)修理品に送料、交通費等が掛った場合はお客様にてご負担願います。
- (7)当社製品を使用して付随製品が故障した際の保証は致しません。充電電池の破損などに関しては一切の責任を負いかねます。
- (8)出張による点検・修理・取扱説明・設定等には無償・有償を問わず対応しておりませんので、あらかじめご了承ください。
- (9)本保証は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- (10)本保証は保証規定により無償修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■ 個人情報について

※修理を通じてお客様からご提供いただいた個人情報を、修理完了後、速やかに廃棄いたします。

※ご協力いただきました記入事項につきましては、ご提供いただきました個人情報のうち、年齢・性別等個人を識別、あるいは特定できない情報と関連付け、統計的データに加工して利用する場合があります。

※当社は、お客様の個人情報を第三者へ開示いたしません。但し、以下の場合を除きます。

- お客様の承諾を得た場合。
- お客様の明示した利用目的の達成に必要な範囲内において 業、務委託先に個人情報を開示する場合。但し、この場合に当社は、法令上、個人情報の安全管理が図られるよう、当該業務委託先に対して必要かつ適切な監督義務を負います。